



幼保小中一貫教育プロジェクト 阿久比町中学生海外家庭生活体験事業

町では、中学生海外家庭生活体験事業として、毎年、中学生をカナダに派遣しています。第25回目となる今回も、10人の生徒たちが8日間の海外家庭生活を体験してきました。参加した生徒たちは、あらかじめ研修テーマを設定し、現地での研修や調査結果を報告書にまとめています。今回はその報告書をもとに、日本とカナダの違いや彼らのカナダでの体験をお伝えします。

■問い合わせ先 学校教育課学校教育係 ☎(48) 1111 (内1230・1231)

(敬称略)

【神田澄和】

ホームステイは初めてでしたが、カナダのゲームを一緒にしたり、日本文化の紹介をしたりして、交流することができたので楽しかったです。ホストファミリーにきれいな湖や、教会、日本食レストランなどへ連れて行ってもらい、とても楽しい時間を過ごすことができました。海外派遣事業に参加して、カナダだけでなく、いろいろな国のことをさらに知りたいと思いました。



【竹内大翔】

街中にバスケットボールのゴールがあるなど、カナダは日本と比べるとかなりスポーツのしやすい環境になっていると感じ、うらやましいと思いました。カナダで人気のあるアイスホッケーやカナディアンフットボールは、どちらもアメリカでも人気のあるスポーツで、アメリカの影響を強く受けていると感じました。

【新海空翔】

僕は、ホームステイ中にカナダの多文化主義を感じました。海外派遣された僕たちのホストファミリーは、メキシコ、インド、台湾、香港、フィリピンなど、いろいろな国の出身の方たちで、各家庭では、それぞれの出身の国の料理を食べることができました。僕のホームステイ先の料理は、メキシコ料理でスパイシーな味付けが多かったです。普段いろいろな調味料を使っている日本食を食べていても、口に合わない料理もありました。普段の生活の中にも、多国籍な文化を感じることができました。



【平子陽太】

カナダにはさまざまな余暇の過ごし方があることを知りました。昼の時間が長いので、平日に仕事が終わった後、家族で遊びに行きます。休日は家で家族と過ごしたり、しっかり休んだりする人が多いです。僕が紹介した日本の伝統的な遊びのけん玉やコマを、現地の子どもたちは、とても楽しそうに遊んでくれました。